

2022年3月期第3四半期 決算説明資料

2022年2月4日

SRS ホールディングス 株式会社 (東証第一部：8163)



2022年3月期第3四半期 決算概要

業績ハイライト	4
主力業態 既存店推移	5
業態別店舗数	6

事業別施策 進捗状況

和食さと、天井・天ぷら本舗 さん天	8
長次郎、CHOJIRO、家族亭、得得	9
宮本むなし、かつや、からやま	10

Appendix

貸借対照表	12
SDGsの取組み	13
2022年3月期出店店舗	16

2022年3月期 第3四半期 決算概要

◆ **売上高** : 313億71百万円 前年同期比 **△19億63百万円 減収**

- ・昨年来続く新型コロナウイルス感染拡大による、営業時間の短縮や外出自粛等により入店客数が減少し減収

◆ **営業利益** : △32億43百万円 前年同期比 **△3億65百万円 減益**

- ・人件費や水道光熱費等販管費の削減を行うものの、減収による影響が大きく減収

◆ **経常利益** : 26億43百万円 前年同期比 **+54億58百万円 増益**

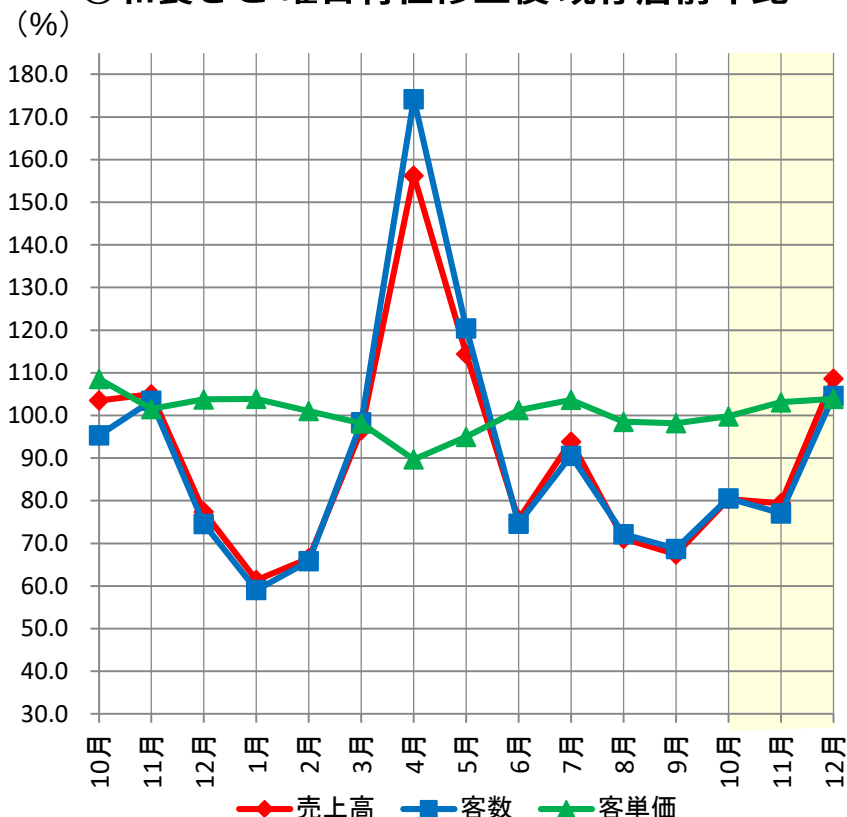
◆ 親会社株主に帰属する
当期純利益 : 18億01百万円 前年同期比 **+43億15百万円 増益**

- ・営業時間短縮に伴う協力金等を営業外収益に計上したことにより、経常利益以下は前年実績に対して大幅に改善し黒字転換

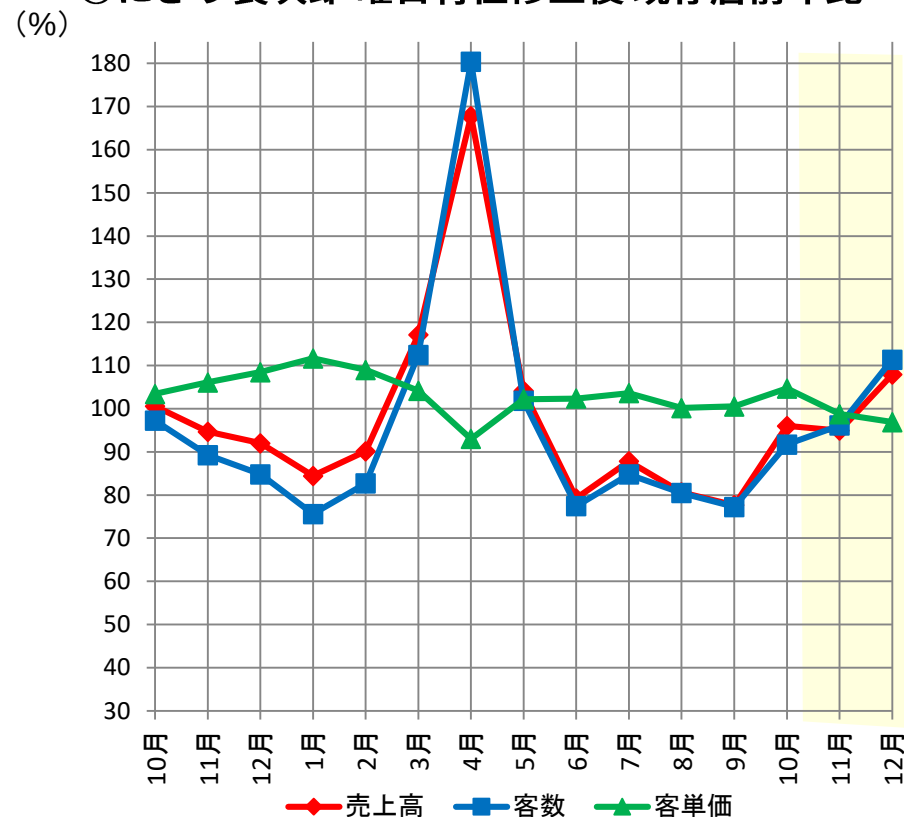
主力業態 既存店業績推移

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業時間の短縮により、売上高は不安定な状況が続く
- 4月、5月は第1回目の緊急事態宣言が発令された前年を上回って推移したものの、6月以降は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による営業時間の短縮が継続したことにより前年を下回って推移
- 10月以降は感染者数の減少にあわせ、売上高は回復傾向で推移

◎和食さと 曜日特性修正後 既存店前年比



◎にぎり長次郎 曜日特性修正後 既存店前年比



業態別店舗数

	2021年 3月期末 店舗数	2022年3月期 第3四半期				2022年 3月期 出店計画②	2022年3月期 第3四半期末 契約済店舗数 ③	出店進捗率 (①+③)÷②
		出店①	閉店	業態 転換	店舗数			
和食さと	206 (－)	1	1	－	206 (－)	3 (－)	1 (－)	66.7%
家族亭※	68 (8)	－	1	－	67 (8)	－	－	－
にぎり長次郎※	65 (－)	1	－	－	66 (－)	3 (－)	1 (－)	66.7%
得得・とくとく	68 (55)	－	3	－	65 (52)	1 (－)	－	0%
天井・天ぷら本舗 さん天	44 (1)	－	－	－	44 (1)	1 (－)	－	0%
かつや	39 (14)	2	－	－	41 (14)	3 (1)	1 (1)	100%
めしや 宮本むなし	41 (2)	－	1	△1	39 (2)	－	－	－
宅配寿司業態	10 (4)	1	－	－	11 (4)	－	－	－
ひまわり・茶房ひまわり	9 (－)	－	－	－	9 (－)	－	－	－
からやま	4 (－)	2	－	－	6 (－)	3 (－)	－	66.7%
M&S FC事業※	19 (－)	－	1	+1	19 (－)	－	－	－
その他	16 (－)	5	1	－	20 (－)	4 (－)	－	125%
海外店舗	20 (13)	2	1	－	21 (15)	9 (9)	－	22.2%
グループ計	609 (97)	14	9	－	614 (96)	27 (10)	3 (1)	63.0%

() 内はFC・のれん分け及び合併事業店舗数

※「家族亭」業態には「花匂庵」「三宝庵」「家族庵」「蕎麦」「蕎麦」業態を含んでおります。

※「にぎり長次郎」業態には「CHOJIRO」業態を含んでおります。

※「M&S FC事業」は、M&Sフードサービス株式会社が運営する「ポポラマーマ」「ミスタードーナツ」「ドトールコーヒー」「大釜屋」「しんぱち食堂」業態の合計店舗数です。

事業別施策 実施状況

#	主要項目	施策内容／実施状況
1		◆テイクアウト、デリバリーの需要拡大に合わせた取組み →テイクアウト商品を対象とした特別割引キャンペーンを定期的を実施 →デリバリー対象店舗の順次拡大（導入済店舗 12月末時点 171店舗） ◆来店頻度向上に向けた取組み →季節商品や食べ放題メニューの特別割引キャンペーンを定期的を実施 →和食さと公式アプリに来店スタンプカード機能を追加 →65歳以上のお客様を対象にした「さとシニアくらぶ」の運用を開始 →イトイン売上の回復を目指し、一部店舗の美装を開始 ◆生産性向上に向けた取組み →新POS導入に伴い、全店にセミセルフレジを導入済 →団体客の減少に伴い、大部屋の小部屋化改装を実施 →ワークスケジュール自動作成ソフトをテスト導入し全店展開に向け検討を継続 →配膳ロボットの実験を開始し、導入店舗の拡大を予定 ◆新規出店の継続 →1店舗出店済（7月10日：湊川店【兵庫県】）
2		◆テイクアウト、デリバリーの需要拡大に合わせた取組み →デリバリー対象店舗の順次拡大（導入済店舗 12月末時点 43店舗） ◆生産性向上に向けた取組み →お客様の購入しやすさを考慮した新型券売機の導入を開始 ◆来店頻度向上に向けた取組み →期間限定商品や人気商品の特別価格キャンペーンを実施 →好評の牛すき天丼をグランドメニュー化し、TVCMを放映 →若年層顧客の開拓に向け、「肉×天ぷら」をシリーズ化し継続 →新型券売機導入による、キャッシュレス決済への対応開始



セミセルフ型の新型レジ

#	主要項目	施策内容／実施状況
3	 	◆テイクアウトの需要拡大に合わせた取組み →テイクアウト、宅配専門業態「にぎり忠次郎」のブラッシュアップとして、「宅配にぎり長次郎」にブランド名を変更（4店舗） →にぎり長次郎の店舗内に「宅配にぎり長次郎」を併設店舗として新規出店 →テイクアウト販売商品の拡充や、WEB注文受付可能店舗の拡大を継続 ◆生産性向上に向けた取組み →ライスロボ（自動炊飯器）の全店導入を継続 →お客様の利便性改善を目的とし、テーブルオーダー端末の増設を継続 ◆客数獲得に向けた取組み →新規・リピート顧客獲得を目指し、旬の素材を使用した期間限定商品の販売やキャンペーンを継続実施 →20周年アニバーサリーとして、西川きよしさんをアンバサダーに迎え、TVCMを放映 ◆新規出店の継続 →2店舗出店済（7月2日：にぎり長次郎 平針店【愛知県】、 11月26日：宅配にぎり長次郎 真砂店【大阪府】）
4		◆テイクアウト、デリバリーの需要拡大に合わせた取組み →コンビセットや、ファミリーセットなど、テイクアウト販売商品の拡充を継続 ◆客数獲得に向けた取組み →旬の素材を使用した期間限定フェアや産地応援フェアを家族亭業態で定期的を実施 →得得ブランドの再構築を目指し、メニュー、価格を一新したりリニューアル店舗をオープン ◆新たな顧客層の獲得を目指して、LINEを利用した販売促進施策の実施を継続 ◆サービスエリア事業の新規出店継続 →4店舗出店済

#	主要項目	施策内容／実施状況
5	 宮本むなし	◆テイクアウト、デリバリーの需要拡大に合わせた取組み →デリバリーサービスの対象店舗拡大を継続（導入済店舗 12月末34店舗） →テイクアウト店頭ディスプレイ設置に向け、店舗実験を継続 ◆客数獲得に向けた取組み →コロナ禍の影響を大きく受ける駅前立地店舗の業態転換1号店として「炭火焼干物定食しんぱち食堂 阪急梅田店」を開店 →既存店の収益力改善に向け、メニュー構成、内装を一新したリニューアル店舗「定食屋 宮本むなし」をオープン →新規顧客獲得を目的とし、期間限定メニューの販売を継続
6	  からやま	◆テイクアウト、デリバリーの需要拡大に合わせた取組み →デリバリー対象店舗の拡大（導入済店舗 12月末31店舗） →お客様の利便性向上に向け、テイクアウトの事前決済サービスを全店導入 →テイクアウト限定メニューの販売継続 ◆客数獲得に向けた取組み →顧客ニーズに合わせた期間限定商品の販売を継続実施 ◆新規出店の継続 →4店舗出店済（7月2日：からやま 寝屋川宇谷店【大阪府】、9月3日：かやらま 堺長曽根店【大阪府】、11月5日：かつや 岸和田八飯店【大阪府】、11月26日：寝屋川秦町店【大阪府】）





Appendix

貸借対照表(BS)

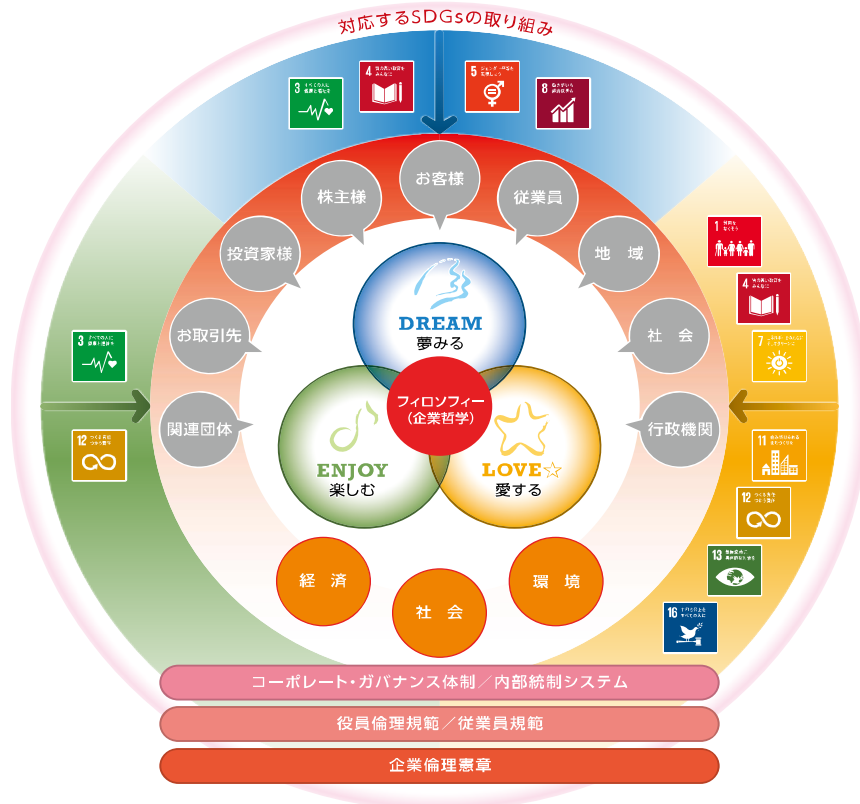
単位：百万円

	2021年3月期末 (2021年3月31日)	2022年3月期 第3四半期末 (2021年12月31日)	増減
流動資産	14,542	18,061	+3,518
固定資産	16,275	17,137	+861
流動負債	7,009	8,460	+1,450
固定負債	14,002	13,081	△921
純資産	9,990	13,821	+3,831
総資産	31,002	35,363	+4,361

・SDGsへの取り組みについて

SRSグループは、「私たちは、食を通じて社会に貢献します。」をフィロソフィーとした事業活動を通じて、当社の価値観に共感や支援をしてくださるステークホルダーの皆さまと共に成長し、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に向けて、社会課題の解決と価値の創造に取り組んでまいります。

・経営理念とSDGs取り組み重点テーマ



DREAM パートナーと共に、夢の実現をめざします。

8 働きがいも
経済成長も



対応するSDGs目標

多様な人々が多様な才能を発揮し活躍できる環境を提供し、生産性の向上と持続可能な社会を実現するための社会基盤の構築を目指します。

ENJOY カスタマーと共に楽しさを分かち合います。

3 すべての人に
健康と福祉を



対応するSDGs目標

社会的インフラとして、心のこもったサービスと「安全・安心」な食事を提供し、あらゆる年齢のすべてのお客様に、「安くて」「美味しくて」「楽しく満足できる」食事と空間の提供を目指します。

LOVE☆コミュニティを愛し、人びとと共に生きます。

11 住み続けられる
まちづくりを



対応するSDGs目標

環境保全への取り組みや地域の方々との共生を通じて、コミュニティと共に発展し、愛し、愛され、親しまれる存在になります。

・当社の取り組みについて

	重点テーマ	取組み内容	対応するSDGs
DREAM	パートナーと共に、夢の実現を目指します。		
	働きやすい職場環境づくり	年次有給休暇および7日間連続休暇の取得推進	  
		「和食さと」全店で、育児支援として「親子割」制度を継続	
		社会保険適用パート従業員の加入拡大	
		育児短時間勤務制度の拡充	
		本部部門のテレワーク勤務制度の導入	
	多様な人材登用・育成	定年年齢を65歳に延長、再雇用上限年齢を70歳に延長	 
短時間正社員店長の新規登用の継続とサポート			
ENJOY	カスタマーと共に楽しさを分かち合います。		
	安全・安心へのこだわり	当社基準に基づいた原材料の品質管理徹底	 
		従業員衛生教育の継続とHACCPに沿った店舗衛生管理の徹底による安心・安全の確保	
		行政の要請事項への協力、感染症防止対策の徹底	
	安全・安心へのアプローチ	店頭での原産地表示やウェブサイトでのカロリー・塩分・アレルギー情報等の表示	 

・当社の取り組みについて

	重点テーマ	取り組み内容	対応するSDGs
LOVE☆	コミュニティを愛し、人びとと共に生きます。		
	廃棄物削減の取り組み	食品廃棄物の再生利用等実施率目標達成に向け取り組み推進	 
		食べきりプロジェクトへの参加	
		フードバンクの活用	
	環境保全への取り組み	店舗あたりエネルギー使用量の削減	  
		ストローやレジ袋等、プラスチック使用量の削減に向けた取り組み推進	
	飲酒運転撲滅への取り組み	SDD（飲酒運転撲滅運動）活動の継続	 
		ハンドルキーパー運動の推進	
	帰宅困難者への支援	災害時帰宅ステーションの協力継続	
	社会貢献活動への参加、協力	キッザニア甲子園にて「すし屋」パビリオンを出展中	 
		セーブ・ザ・チルドレン活動、ジェフ愛の募金活動の協力継続	
	ステークホルダーとのコミュニケーションの充実	IR（機関投資家、アナリスト向け）決算説明会の開催	
		コーポレートレポートの発行および当社ウェブサイトのCSRサイト更新	
	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス体制の強化、コンプライアンスの徹底	

2022年3月期 出店店舗



2021年5月18日開店
さと丼 パシフィックパークシラチャ店（タイ）



2021年6月10日開店
とくとく 錦秋湖サービスエリア店（岩手県）



2021年6月28日開店
炭火焼干物定食 しんぱち食堂 阪急梅田店（大阪府）



2021年7月2日開店
サトマルシェ 河内小阪店（大阪府）

2022年3月期 出店店舗



2021年7月2日開店
にぎり長次郎 平針店（愛知県）



2021年7月2日開店
からやま 寝屋川宇谷店（大阪府）



2021年7月10日開店
和食さと 湊川店（兵庫県）



2021年7月15日開店
とくとく 紫波サービスエリア（下り線）店（岩手県）

2022年3月期 出店店舗



2021年9月3日開店
からやま 堀長曾根店（大阪府）



2021年10月9日開店
とくとく 香芝サービスエリア店（上り線・下り線）
（奈良県）



2021年11月5日開店
かつや 岸和田八飯店（大阪府）



2021年11月10日開店
さと井 ロビンソンライフスタイルチョンブリ店（タイ）

2022年3月期 出店店舗



2021年11月26日開店
かつや 寝屋川秦町店 (大阪府)



2021年11月26日開店
宅配にぎり長次郎 真砂店 (大阪府)



お問い合わせ先

SRSホールディングス株式会社
経営企画部（岡本、頼）

TEL: 06-7709-9977

メールアドレス：873@sato-rs.jp

本資料に掲載されている業績予想は、本プレゼンテーション時において入手可能な情報に基づき判断した見通しです。
この中には、多分に不確定要素が含まれており、様々な要因によりこれら業績等に関する見通しとは大きく異なることがあります。
以上の前提をご理解いただき、投資に関する決定をされる場合にはご自身の判断で行われるようお願いいたします。